



第11号様式(第16条関係)

補助事業等実績報告書

令和 7年 3月 14日

(宛先)

戸田市長

様

補助事業者

住所又は所在地

氏名又は団体名 みるくらぼ
及び代表者氏名 鈴木 あい

戸田市補助金等交付規則の規定により、次のとおり報告します。

交付決定年月日	令和6年10月7日	交付番号	22
補助年度	令和6年度	補助金等の名称	戸田市共創のまちづくり補助金
補助事業等の名称	学校へ通っていない（または苦手な）子どもたちの居場所づくり		
補助事業等の施行場所	上戸田地域交流センターあいパル及び レンタルスペースさぼり場（戸田公園）		
着手年月日	令和6年10月7日	完了年月日	令和7年2月28日
補助金等の交付決定通知額		50,000円	
補助金等の既交付額		0円	
補助事業等の補助対象事業費		82,228円	
補助事業等の経過及び内容	学校に通っていない（または学校が苦手な）子どもたちのための居場所づくりのために、彼らが興味を持てるイベントを実施する。		
添付書類 1 第8号様式 戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（SDGs応援事業補助） 2 領収書 3 参加者アンケート 4 5			

2025 年 3 月 14 日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（SDGs 応援事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 みるくらぼ
代表者職・氏名 代表 鈴木あい
所 在 地

事 業 名	学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもたちの居場所づくり
実施期間	2024 年 10 月 7 日 ～ 2025 年 2 月 28 日

1 事業の具体的な内容及び SDGs の成果

学校に通っていない（または学校が苦手な）子どもたちの居場所づくりのために、彼らが興味を持てる内容のイベントを開催しました。 1. イベント内容 (1) 冬休みほっと広場 冬休みに入る直前の開催となりましたが、ゲーム大会をしたり、コリントゲームというアナログゲームなどで遊びました。安心して行きたいと思える場所があることで、子どもの生きる活力になり、と同時に、保護者の方がほっとひと息つける活動になったと思います。 当初は時間を前半と後半の 2 部に分けて、それぞれに参加者を募集する予定でしたが、1 年の終わりにゆっくり出来るように、出入り自由の通し開催としました。また、参加者にはお菓子と飲み物を提供しました。多目的室を 2 室（予定では 1 室）つなげ、卓球台を 2 台借りて、アクティブに運動する姿も見られました。 参加者の保護者からは、「こどもが、目をキラキラさせて『たのしい！！』と言ってきてうれしくなった」「ゲームだけでなく、卓球やコリントゲームなど、他のことでも、他の子と交流できてよかった。また開催してほしい」といった声が寄せられました。 開催日時：2024 年 12 月 21 日（土） 14：30～18：45 開催場所：上戸田地域交流センターあいパル多目的室 3、多目的室 4

参加者：こども 8 名＋保護者 4 名

(小学校 3～6 年生の男の子 7 名、中学 3 年生の女の子 1 名が参加)

参加費：ひと家族につき 1,500 円



(2) 料理教室 講師：宇治小枝子さん

フライパンひとつで、包丁も使わずに出来るワンパンパスタ&レンチンマグカップケーキ作りを学ぶ、料理教室を開催しました。

自分の食べるものを自分で作れるようになること、子どもたちの生きる力を養うことを目的としました。

また、旬の食材や、食材の栄養価などが自然と学べる内容を提供し、食への興味や関心を促すことを目的として、講師の先生をお呼びして活動しました。

後日参加者へ行ったアンケートでは「家でも早速同じメニューを作ってくれました。料理すると生き生きして楽しそうです。」「子どもひとりでもできる料理を教えてもらい、また 1 つ成長しました。ありがとうございました。」「次は、陶芸や茶道などもやってみたいです。」といった声が聞かれました。

開催日時：2024 年 10 月 12 日（土）10:30～13:00

開催場所：上戸田地域交流センターあいパルキッチンスタジオ

参加者：7 名

(小学 3 年～6 年の男の子 4 名、小中学生の女の子 3 名が参加)

参加費：1 人につき 300 円



(3) コミュニケーションマジック講座 講師：ふたみさん

マジックのやり方を取得し、見てくれる人（家族や友人）とのコミュニケーションをとりながらマジックを見せる楽しみを知り、他者も楽しませることが出来るようになることを目指して、活動しました。

主体的に学び、コミュニケーションをとる楽しさを体験できることを目的とし、また、プロのマジシャンの技に触れ、多様な職業への興味関心を促すことを目的として、講師の先生をお呼びして学びました。

講師のかたのショータイムから始まり、ショーのあとは、ロープとリングを使ったマジックを教わりました。

参加者の保護者の方からは、「おうちに帰って早速弟に見せてました。その後もずっとやってます!」「マジックの教室があったら習わせてみたい」との声を頂きました。

開催日時：2024年12月2日（月）16：30～17：30

開催場所：さぼり場（戸田市本町4丁目14-14 プラージュ戸田公園2階）

参加者：3名（小学5年生男の子2名、小学6年生男の子1名）

参加費：1人につき1,300円



(4)お菓子教室 講師：稲川典子さん

パティシエの講師から、「デコドーナツとマドレーヌと焼きプリン」を学ぶお菓子教室を開催しました。

自由な感覚でデコレーションすることで芸術的センスを養うことや、持ち帰ったお菓子を家族や身近な人に喜んでもらうことで、自分に自信が持てるようになることを目的とした活動です。

後日参加者からは「こういう居場所があって本当にありがたいです」「家でも早速作っていました」といった声が聞かれました。

開催日時：2025年2月9日(日) 14:00～17:00

開催場所：上戸田地域交流センターあいパルキッチンスタジオ

参加者：8名

(小学3年～6年の男の子4名、小中学生の女の子3名、5歳の妹さん1名)

参加費：1人につき1,200円



2. 対象者

学校へ通っていない（または学校が苦手な）小中高生とその家族を対象とし、子どもだけの参加も受け入れました。

3. 周知方法

- ・団体のホームページ、SNS、公式LINEで周知を図りました。

- ・イベントの参加申し込み時に、対象の子どもの現在の状況や、子どもの特性により配慮してほしいことなどを保護者からヒアリングし、子どもにとってストレスのない環境でイベントに参加出来るように考慮して、イベントを実施しました。「人前で食べるのが苦手です」「大きい音や、うるさいところが苦手です」など事前に参加者の特性を把握し、スタッフ、講師とも情報を共有していたので、当日の活動時に配慮することが出来ました。具体的には、料理教室やお菓子教室では、

人前で食べることが苦手な子のために、持ち帰り容器を準備したり、冬休みほつと広場では、こどもたちのやりたいことに添って、内容を適宜変更しながら実施しました。また、料理教室では、クールダウンしたい子のために、キッチンの隣の和室を借りて用意しました。(当日、和室を利用した子はいませんでした)

・周知のための画像には、必ず「学校へ通っていない(または学校が苦手な)こどもが対象」あることを明記し、必要な子どもや家庭に情報が届くように努め、イベントを実施しました。

4. 事業の成果

・イベントは、各回 8 名前後の少人数で開催しました。子どもたちが安心して参加出来る様に配慮し、学校以外の居場所の選択肢の 1 つとなることを目指して活動をすすめ、実際に保護者からは「こういう場所があってありがたい」「みるくらぼの活動には、緊張しながらも参加出来る」、こどもからは「すっごく楽しい!」「次は卓球を使って競うゲームをやろうよ」「習ったお菓子を家でもやりたい」といった声を聞くことが出来ました。

・対象は小中高生にしていますが、実際は小学生 3 年～6 年生を中心に活動しました。活動に参加して、前回と同じメンバーに会うこともあり、初対面だった子ども同士が少しずつ打ち解けて話す様子や、女子トークに花が咲く場面を見ることが出来ました。

・数か月に 1 回程度の開催ではありましたが、「次はいつお料理教室あるの?」と聞いてくる子もいて、日々の生活を送るなかでイベントを楽しみにしてもらえたと思います。

・戸田市社会福祉協議会が主催するひきこもり・不登校の家族のためのサロン「とまり木」に、代表の鈴木が 3 回参加しました。鈴木も、当事者の親でもありますので、日々の思いを分かち合ってもらえることが出来て安心しました。また、そこで出会った保護者の方にみるくらぼの活動をお伝えすることもできました。まだその方のお子さんは、外へ出るタイミングではないようで、活動に参加していませんが、選択肢のひとつとしてみるくらぼの活動を知ってもらえることが出来て、とても有意義な時間を過ごせたと思います。

・料理教室、お菓子教室の開催後、参加者にアンケートを実施しました。回答はそれぞれ 1 名ずつでしたが、前述のイベント報告の中にも記載してありますが、活動を肯定的に受け止めている意見を頂きました。

5. SDG s の成果

SDG s 4 質の高い教育をみんなに

参加した子どもたち、保護者からの感想では、「習ったお菓子を家でもやりたい」「子どもひとりでもできる料理を教えてもらい、また 1 つ成長しました」という声が挙がっており、SDG s 4「質の高い教育をみんなに」を達成できたと思います。

SDG s 10 パートナリーシップで目標を達成しよう

学校に通っていない子や学校への行き渋りがある子が、他者とのコミュニケーションを取れる場所、学びの場所としてみるくらぼを選択肢のひとつとして選んでいたのも、SDG s 10「パートナーシップで目標を達成しよう」を達成できたと思います。

2 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
8 月 10 日 (土)	料理教室打合せ
8 月 22 日 (木)	コミュニケーションマジック打合せ
10 月 12 日 (土)	料理教室
12 月 2 日 (月)	コミュニケーションマジック講座
12 月 6 日 (金)	お菓子教室打合せ
12 月 21 日 (土)	冬休みほっと広場
2 月 9 日 (日)	お菓子教室

3 事業の実施体制

みるくらぼ会員 3 名
協力者（保育士）1 名

4 反省点と課題

反省点

- ・告知の時期が遅くなってしまったイベントがあった。

課題

- ・集まる子どもたちの交流がより深まるためには、イベントの回数が少ないので、もう少し増やしていきたい。
- ・活動後のアンケートの回答数がふるわないので、アンケートのやり方を改善していきたい。具体的には、今年度は後日アンケートフォームを送信する方法をとったが、当日紙のアンケートに記入してもらうことを考えている。

《収支報告書》

【収入】

(円)

科 目		予 算 額 ①	収 入 額 ②	比 較 (②-①)	内 訳
補 助 金・ 助成金	当補助金	50,000	50,000	0	
	その他				
自己資金		6,208	12,074	5,866	
会費（参加費等）		18,000	23,400	5,400	料理教室：300 円 ×8 名／コミュニ ケーションマジ ック：1,300 円×3 名／ほっと広 場：1,500 円×5 家族／お菓子教 室：1,200 円×8 名
利用者負担金（売上等）					
協賛金・寄附					
その他					
合 計		74,208	85,474	11,266	

【支出】

(円)

	科 目	予 算 額 ①	支 出 額 ②	不用額 (①-②)	内 訳
補 助 対 象 経 費	謝礼金	30,550	42,600	-12,050	【協力者への謝礼金】ほっと 広場 5,500 円、料理教室 3,850 円、コミュニケーションマジ ック講座 3,300 円、お菓子教 室 3,850 円 【講師への謝礼金】料理教室 6,900 円、コミュニケーショ ンマジック講座 7,500 円、お 菓子教室 11,700 円
	消耗品費	3,988	5,610	-1,622	料理教室フライパン（参加者 持ち帰り）550 円×6 個＝ 3,300 円／料理教室ポリ袋な ど 440 円／ほっと広場マグネ ットなど 770 円／お菓子教

					室包材など 1,100 円
	食糧費	4,800	2,289	2,511	ほっと広場の飲み物お菓子代 2,289 円
	原材料費	11,000	9,869	1,131	料理教室 4,932 円／ コミュニケーションマジック 968 円／ お菓子教室 3,969 円
	印刷製本 費	8,500	100	8,400	料理教室ポスター印刷 100 円
	使用料	15,370	21,760	-6,390	【会場使用料】料理教室：あ いパルキッチン 1,440 円× 3.5 時間＋和室②260 円×2 時 間=5,560 円)／コミュニケー ションマジック講座：さぼり 場 3,000 円／ほっと広場：あ いパル多目的室③550 円×5 時間＋多目的室④510 円×5 時間＋モニター500 円＋卓球 台 200 円=6,000 円／お菓子教 室：あいパルキッチン 1,200 円×4 時間＋1200 円×2 時間 (試作 1/9 分) =7,200 円
	小 計	74,208	82,228	-8,020	※支出額内訳 補助金充当額：50,000 自主財源：32,228
補助 対象 外 経 費	交通費	0	1,246	-1,246	料理教室講師 946 円 (10 月 12 日) 協力者 300 円 (2 月 9 日)
	その他	0	2,000	-2,000	ほっと広場参加者への景品 (図書カード 500 円×4 枚)
	小 計	0	3,246	-3,246	
合 計		74,208	85,474	-11,266	

